

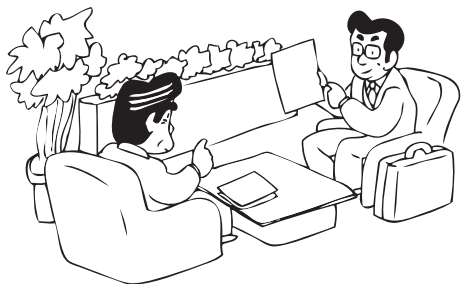
# 私たち、全国金融労働組合共闘会議は 日本経済の健全な発展に資する金融と

## 金融労働者の

# 人権と雇用を守ります

社会の役に立ち、顧客・利用者から喜ばれる仕事をしたいと金融労働者は願っています。しかし、職場では、利益優先の経営の下で、パワハラ、ノルマ営業、長時間労働が横行。雇用、将来展望、働き方への不安と不満が渦巻いています。

全国金融労働組合共闘会議（全国金融共闘）は、金融労働組合のセンターとして、金融労働者の人権と雇用をまもり、金融機関の公共的役割発揮を求めて運動しています。



## 大震災からの 復興に 注力する金融機関

東日本大震災で大きな損害を受けた企業の復興資金注入に懸命に努力する信用金庫の活動が報じられています。

日本経済の発展、地元経済の復興に役立つことが、金融に働くものとして、生きがい、喜びです。金融労働者に力を発揮させるためにも、大企業の過剰な貯蓄によって歪められた日本経済を一日も早く正常な発展軌道に戻させる必要があります。

## 円高、デフレ不況下での消費税増税 地域経済・中小企業に深刻なダメージ

2014年に8%、2015年10月に10%へと消費税が引き上げられます。1997年をピークに雇用者報酬が減少し続けていることから、地場・中小企業が万年不況にあえいでいます。

さらには、昨今の急激な円高による下請け単価の切り下げや売り上げ不振もあって地場・中小企業の経営は厳しさを増しています。

こうした中、消費税引き上げが強行されれば、厳しい不況が懸念されます。



2012年11月

### 全国金融労働組合共闘会議

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-9-9  
レフラスック平河町ビル401  
Tel・Fax 03-3239-0170

加盟組合

全日本損害保険労働組合  
全国証券労働組合協議会  
外国銀行従業員組合連合会

全国金融労働組合連合会  
全国信用保証協会労働組合連合会  
全国農業協同組合労働組合連合会

# 問われる損保の社会的役割

## 損保自由化が引き起こした過当競争

東日本大震災では、迅速な保険金の支払いで損害保険業界の社会的役割を示すことができました。

しかし、損害保険料率が自由化されたことで、保険会社が生き残りをかけて、収益を求め効率化を追求する過当競争が進んでいます。このことで、「一人が万人のために、万人が一人のために」という損保の理念にもとづいた、補償機能という社会的役割は失われ、働くものの誇りと働き甲斐が奪われています。全損保では、この実態を明らかにするため、『一人一言』運動にとりくみました。集まった声と実態を冊子「時代をみつめ明日につなげる」にまとめ、職場の声から損保産業の歪みをただし、社会的役割発揮にむけた運動をすすめていくこととしています。

<「一人一言」より>

### 人々の暮らしを支える「保険」はどこへ

会社のためになる仕事がしたい、人々の暮らしを「保険」という助け合いの仕組みによって支える仕事がしたい、そう思って入ったこの業界の実態に、悔しさや憤りを通り越して、いまでは虚しさしか感じなくなってしまいました。この業界は一体どこへ向かおうとしているのか、考えるだけで、暗澹たる気持ちになります。

(30代女性)



## 証券離れ加速する増資インサイダー事件

野村証券など大手証券会社は、増資情報を特定顧客に漏らしていたとして処分されました。不正事件に大手証券が関与していたことで、投資家の一層の証券離れを引き起こすことが懸念されています。

前哲夫日証協会長は、「資本市場に直接携わる市場仲介者が関与することは、絶対にあってはならない重大な行為である。経営者の倫理観や行動規範意識が足りないと考えている。この2年間、協会員の役職員の倫理観の向上や行動意識の向上に最優先で取り組んできたが、十分ではなかった。」と反省の弁。

### 証券不祥事とノルマ営業の根絶へ

繰り返す証券不祥事を根絶するためには、証券経営者が口先で順法精神を唱えるだけでなく、手数料優先のノルマ営業をやめること。営業現場で労働法を含む全ての法律を遵守し、証券営業社員の労働環境を改善することが必要です。

国民に信頼される  
証券市場を